2024年3月期　決算説明資料

（2023年4月1日～2024年3月31日）

株式会社 精工技研

2024年5月17日

Ⅰ．2024年3月期 連結決算概要

Ⅱ．中期経営計画マスタープラン2022の進捗

Ⅲ．2025年3月期 連結業績見通し

Ⅳ．「資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応」について

SEIKOH GIKEN

Ⅰ．2024年3月期 連結決算概要

Ⅱ．中期経営計画マスタープラン2022の進捗

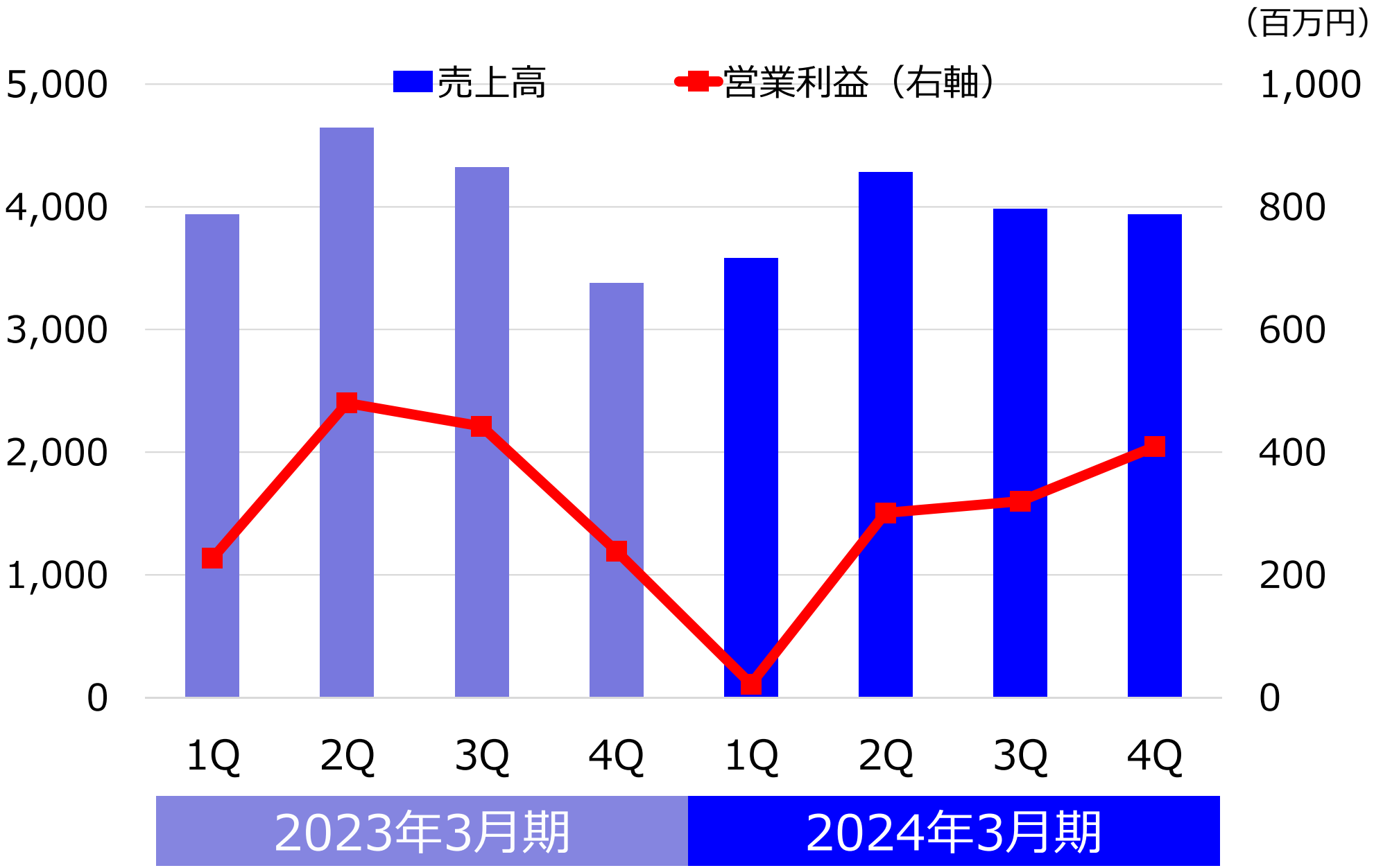
Ⅲ．2025年3月期 連結業績見通し

Ⅳ．「資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応」について

2024年3月期　連結決算ハイライト①

（百万円）	2024年3月期	2023年3月期	対前期増減率	業績予想値（2023/11/10）
売上高	15,785	16,282	△3.1%	16,350
精機部門	8,716	8,303	5.0%	8,850
光製品部門	7,069	7,979	△11.4%	7,500
営業利益	1,052	1,390	△24.3%	680
経常利益	1,269	1,606	△21.0%	850
当期純利益	761	1,082	△29.7%	470

連結損益 四半期推移


（百万円）
売上高
営業利益（右軸）
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
1,000
800
600
400
200
0
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
3Q
4Q
2023年3月期
2024年3月期

2024年3月期　連結決算ハイライト②

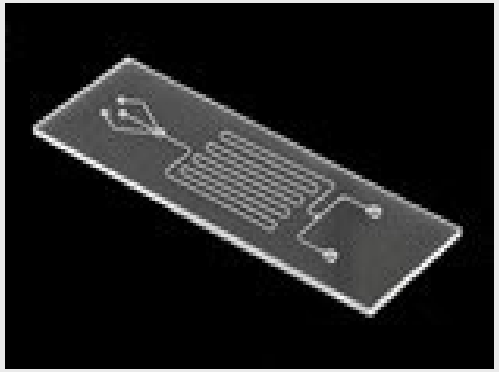
(百万円)	2024年3月期	2023年3月期	対前期増減率
受注高	15,507	16,090	△3.6%
受注残	2,292	2,571	△10.8%
設備投資	388	976	△60.2%
減価償却費	973	1,233	△21.1%
研究開発費	459	453	+1.3%

SEIKOH GIKEN

精機部門／主要製品・主要技術

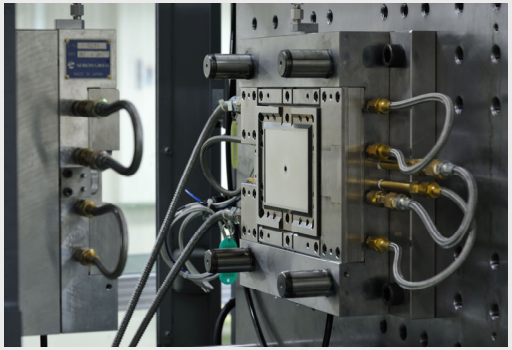
◆ 成形品

車載用インサート成形品
金属プレス成形品
樹脂射出成形品　等



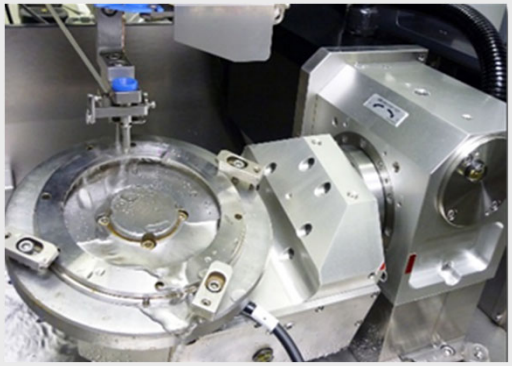
◆ 金型

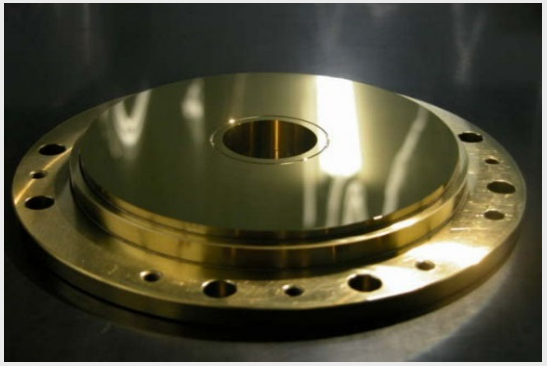
アーカイブディスク用金型
その他 精密金型



◆ その他

精密金属加工部品　等

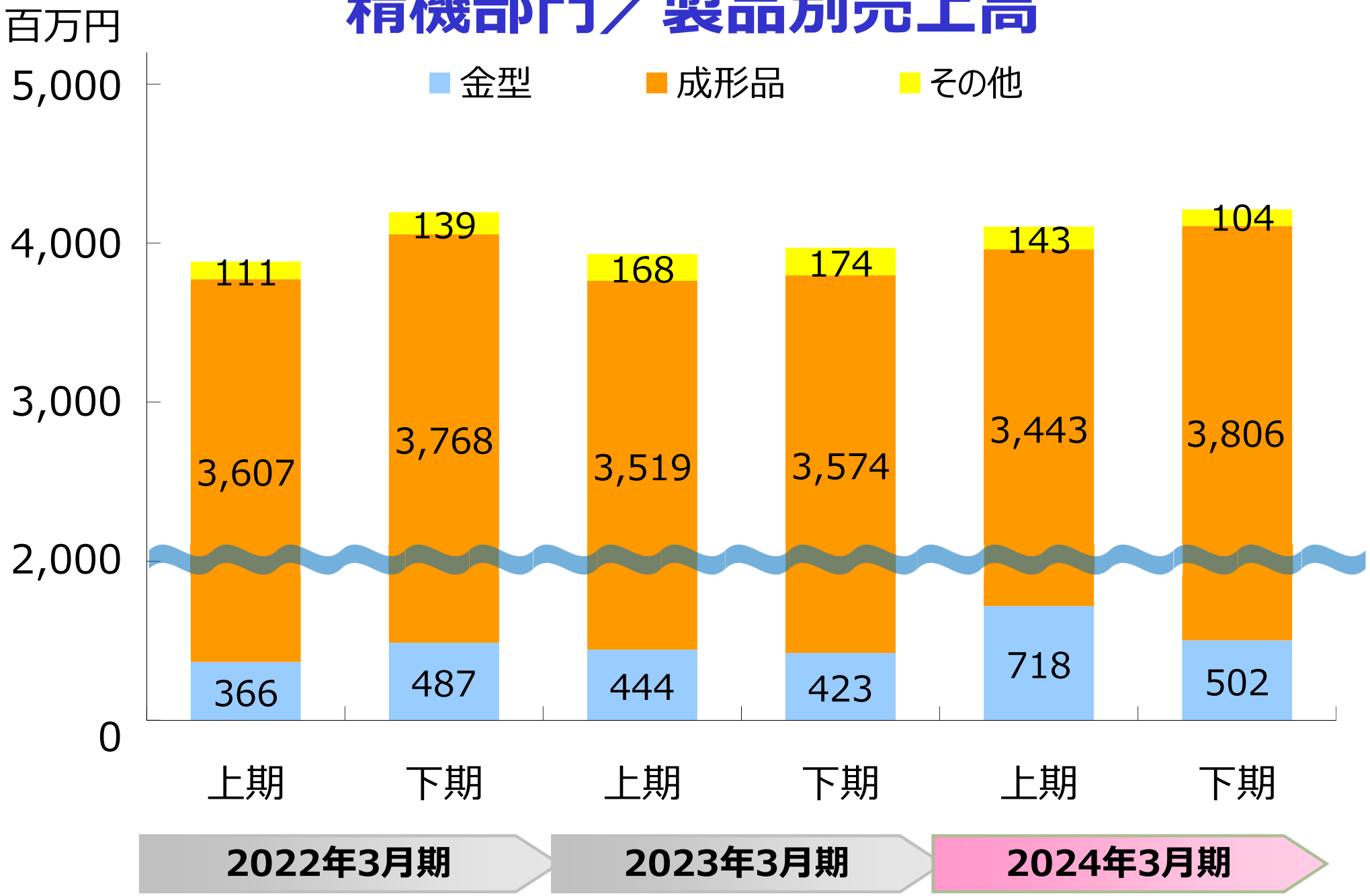




精機部門／セグメント業績

(百万円)	2024年3月期	2023年3月期	対前期増減率
売上高	8,716	8,303	+5.0%
営業費用	8,052	7,911	+1.8%
営業利益	664	392	+69.2%
営業利益率	7.6%	4.7%	—

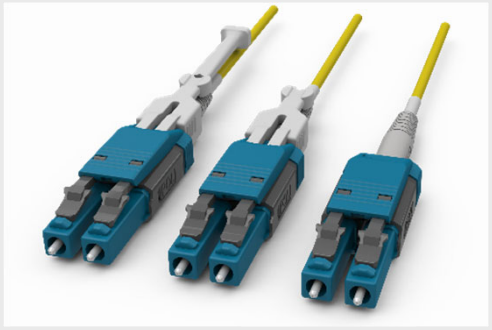
精機部門／製品別売上高


百万円
5,000
4,000
3,000
2,000
0
金型
成形品
その他
111
3,607
366
139
3,768
487
168
3,519
444
174
3,574
423
143
3,443
718
104
3,806
502
上期
下期
上期
下期
上期
下期
2022年3月期
2023年3月期
2024年3月期

光製品部門／主要製品・主要技術

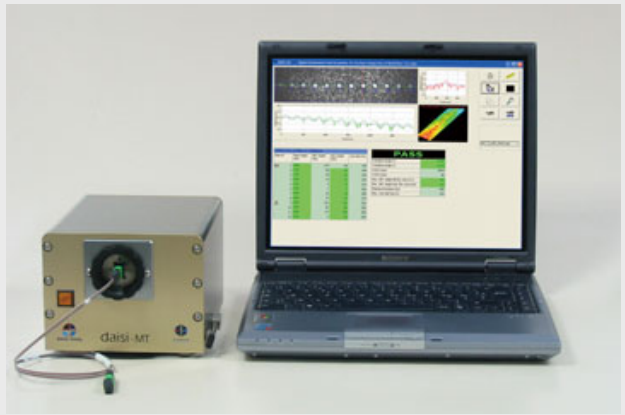
◆ 光通信用部品

光コネクタ
フェルール　等



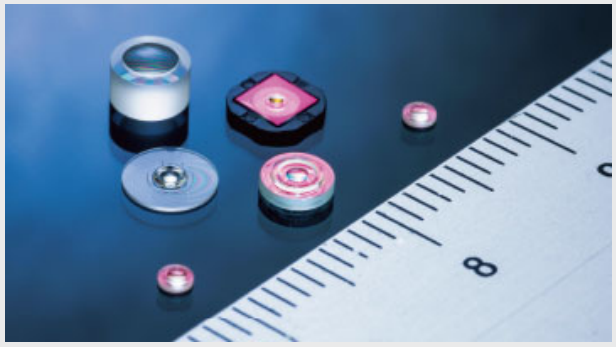
◆ 製造機器・装置

光コネクタ研磨機
光コネクタ端面検査装置
光電界センサー　等



◆ その他

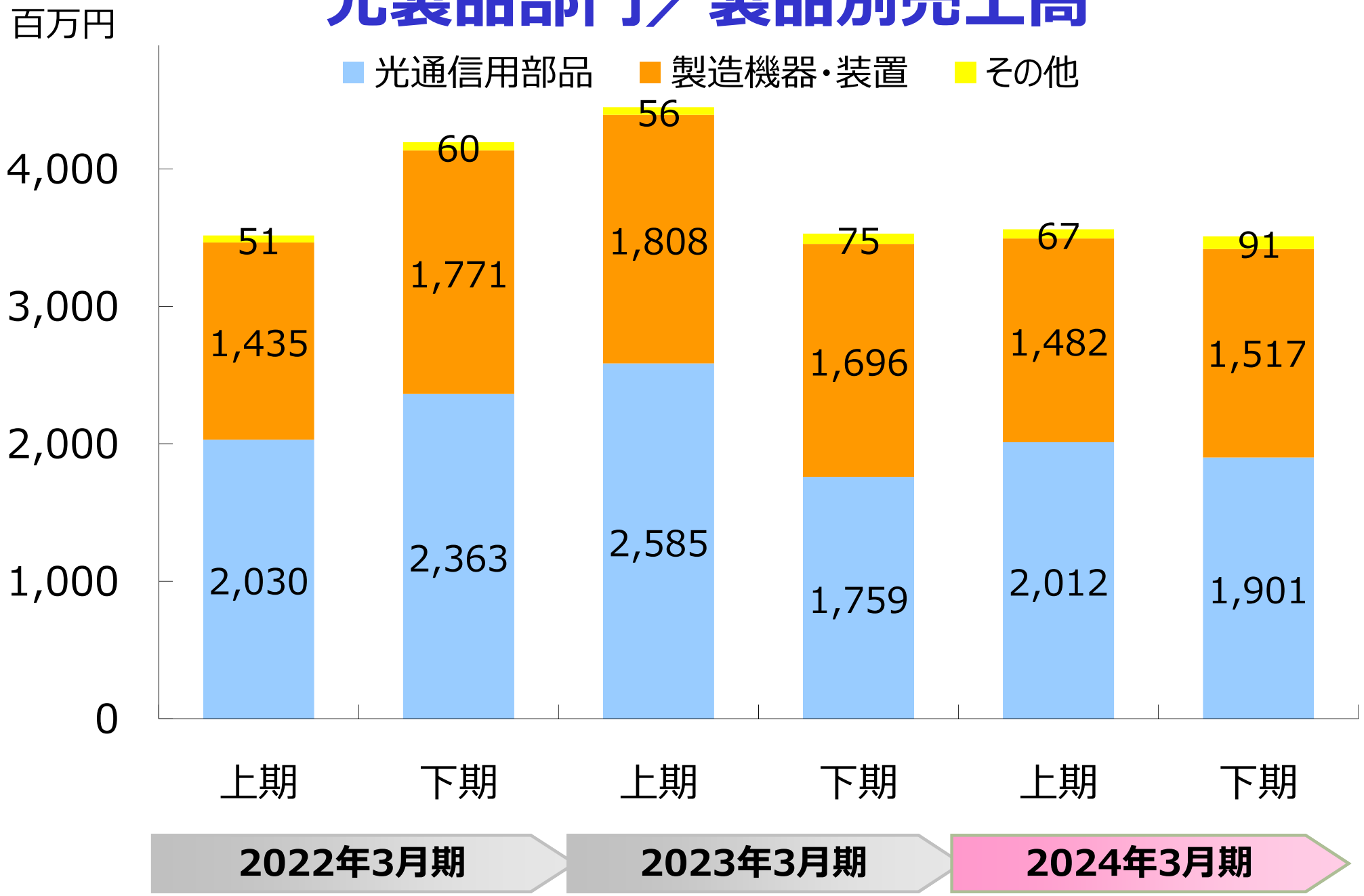
超小型レンズ　等



光製品部門／セグメント業績

(百万円)	2024年3月期	2023年3月期	対前期増減率
売上高	7,069	7,979	△11.4%
営業費用	6,681	6,981	△4.3%
営業利益	388	998	△61.1%
営業利益率	5.5%	12.5%	—

光製品部門／製品別売上高



連結貸借対照表

（百万円）

＜資産の部＞	2024年3月期	2023年3月期	増減額
流動資産	22,738	21,758	+979
固定資産	9,487	9,584	△96
資産合計	32,226	31,342	+883
＜負債及び純資産の部＞			
流動負債	3,425	3,311	+114
固定負債	1,614	1,555	+58
純資産	27,186	26,475	+710
負債純資産合計	32,226	31,342	+883

SEIKOH GIKEN

連結キャッシュ・フロー計算書

（百万円）	2024年3月期	2023年3月期
営業キャッシュ・フロー	1,797	2,299
投資キャッシュ・フロー	△1,533	△950
財務キャッシュ・フロー	△507	△513
現金増減額	△127	995
期首残高	5,193	4,198
期末残高	5,065	5,193

Ⅰ．2024年3月期 連結決算概要

Ⅱ．中期経営計画マスタープラン2022の進捗

Ⅲ．2025年3月期 連結業績見通し

Ⅳ．「資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応」について

中期経営計画
マスタープラン2022
（2022年度～2026年度）

長期経営方針

当社グループが目指す企業像

「社会に必要とされる企業」

社会の維持継続に貢献する
- 資源循環型社会の構築
- 脱炭素社会の構築

社会の進歩発展に貢献する
- 豊かで快適な社会の構築
- 安全安心な社会の構築

基盤技術と貢献領域

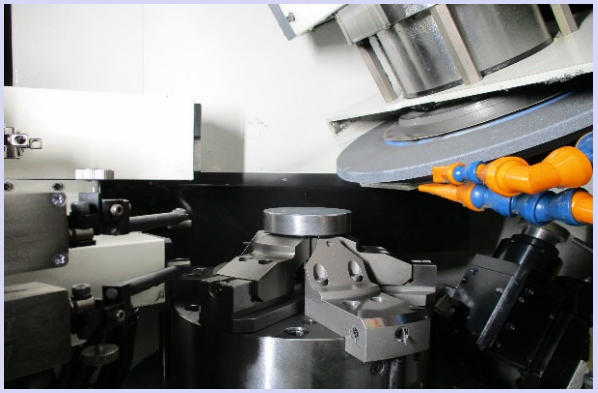
SEIKOH GIKEN

情報通信

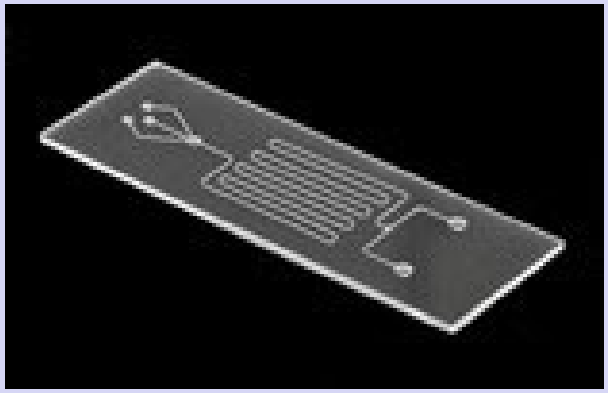
自動車

医療・バイオ

優位性のある基盤技術を成長市場に展開



精密加工技術



精密成形技術

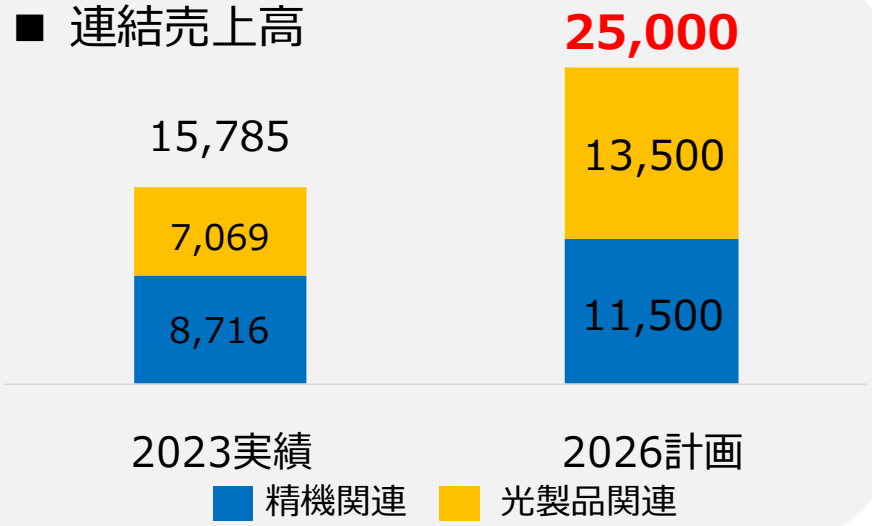
光学技術

中期経営目標（損益指標）

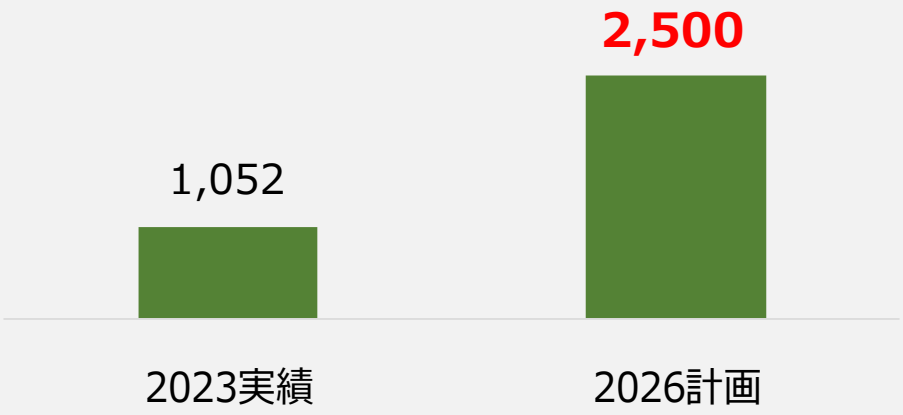
中期経営目標　：　売上高250億円、営業利益25億円以上

（単位：百万円）

■ 連結売上高



■ 連結営業利益



（単位：百万円）	FY2023実績	FY2026計画	FY2023比
精機関連	8,716	11,500	132%
光製品関連	7,069	13,500	191%
連結売上高	15,785	25,000	158%
連結営業利益	1,052	2,500	238%
営業利益率	6.7%	10%	+3.3%

マスタープラン2022　基本戦略

経済価値の最大化　～事業の成長～

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

社会価値の最適化　～サステナビリティ～

経営基盤の強化

- 多様な人材が活き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

2024年3月期　事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

インド法人 Radiant社への資本出資

Radiant
Smarter Technology • Better Solutions

出資総額　約260百万円

出資比率　約13%

Radiant社は、**インドの有力な自動車部品メーカー**

日本、欧州、北南米、アジアの自動車メーカーやTier1の盤石な顧客基盤

弊社子会社 不二電子工業から出資し、**技術面、販売面で協業**を図る

2024年3月期　事業施策

経済価値の最大化

顧客接点の活性化

- 顧客とのコンタクト量と質の向上
- 既存顧客との取引シェア拡大
- 新規顧客開拓

展示会への出展強化

国内外の展示会への出展は、2022年度の10回から **16回に増加**

不二電子工業 や DATA PIXEL等、**連結子会社との共同出展も**

主要顧客社内での**プライベートショーを実施**　既存顧客との関係強化

2024年3月期　事業施策

経済価値の最大化　社会価値の最適化

新製品・新技術開発の加速

- 市場情報に基づく製品開発
- 開発期間のマネジメント強化
- 戦略的な特許取得

「型内塗装技術」は実用化に向けて準備中

(株)東海理化様と共同で小型の車載部品向けの型内塗装技術を開発

塗装工程や乾燥工程を省略し、生産時のCO_2を約60%削減

車載部品以外の用途を見据え、技術の汎用化を進める

2024年3月期　事業施策

経済価値の最大化

ものづくり力の強化

- AI、自動化等による生産効率向上
- 安くて良い部材の安定調達
- 顧客要求に応える品質の維持

大連精工技研 79名の人員合理化

光コネクタの基幹部品「ジルコニアフェルール」

光通信網向けの投資が停滞　ジルコニア製フェルールの需要が減少

固定費を削減し、**より筋肉質な経営体質に**

金属切削加工部品や光コネクタ組立等を加え、売上拡大を図る

2024年3月期　事業施策

社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が活き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

カーボンニュートラルに向けて

松戸市
「まつど脱炭素社会推進事業所」登録

まつど SDGs キャラバン
認定第 2310044 号

デコ活
くらしの中のエコろがけ

環境省
「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを
創る国民運動」（通称：デコ活）に賛同

FY2026に温室効果ガス自社排出量をFY2020比17%削減を目指す

グループ全体で節電対策の強化／省エネ設備への切替を推進

再生可能エネルギーの導入検証

2024年3月期　事業施策

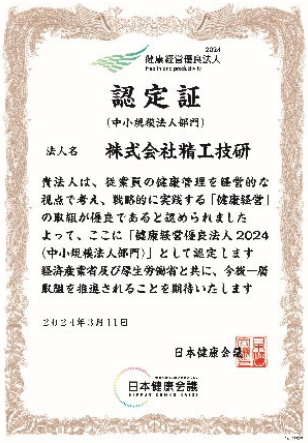
社会価値の最適化

経営基盤の強化

- 多様な人材が活き活きと働ける環境整備
- クラウド化、ペーパーレス化、DX対応
- 脱炭素、資源循環型社会構築への貢献

人的資本投資／健康経営の推進

2024
健康経営優良法人
Health and productivity



2022年10月「健康企業宣言」を行い、健康経営活動をスタート

ｳｫｰｷﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄの開催、健康器具の設置、健康に関する情報提供等を実施

2024年3月、「健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）」認定

Ⅰ．2024年3月期 連結決算概要

Ⅱ．中期経営計画マスタープラン2022の進捗

Ⅲ．2025年3月期 連結業績見通し

Ⅳ．「資本コストや株価を意識した経営の
実現に向けた対応」について

2025年3月期　連結業績見通し

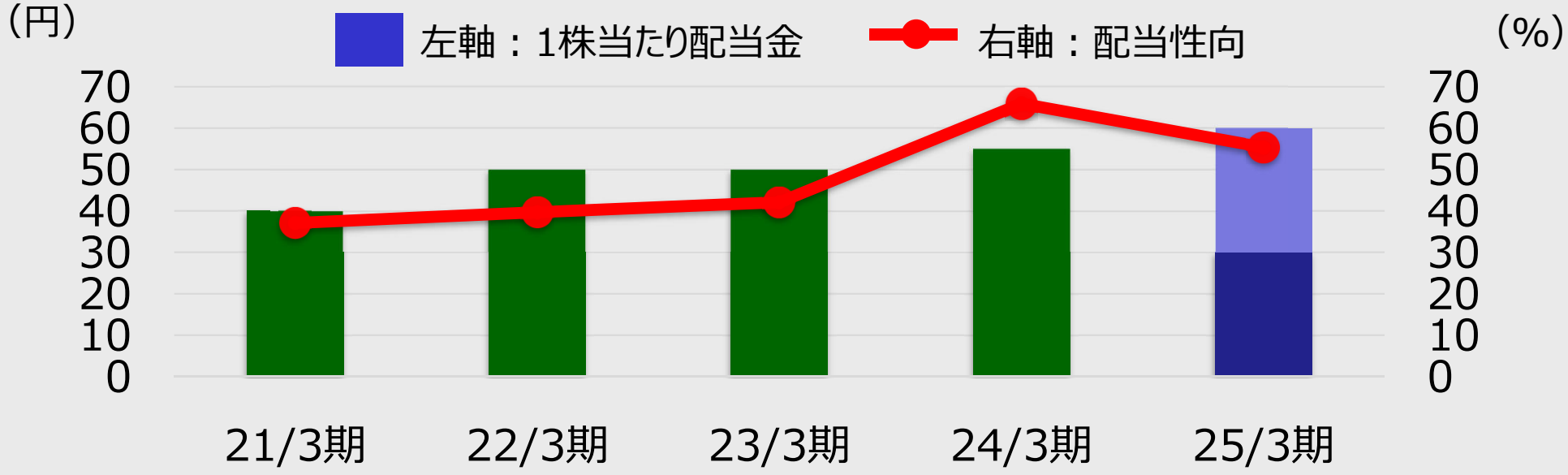
（百万円）	上半期	下半期	25/3月期 見通し	24/3月期 実績
売上高	8,030	9,270	17,300	15,785
営業利益	450	1,000	1,450	1,052
経常利益	500	1,050	1,550	1,269
当期純利益	320	680	1,000	761
設備投資			1,439	388
減価償却費			1,031	973
研究開発費			514	459

2025年3月期　連結業績見通し（部門別）

（百万円）	上半期	下半期	25/3月期 見通し	24/3月期 実績
精機関連				
売上高	4,340	4,940	9,280	8,716
営業費用	4,090	4,490	8,580	8,052
営業利益	250	450	700	664
光製品関連				
売上高	3,690	4,330	8,020	7,069
営業費用	3,490	3,780	7,270	6,681
営業利益	200	550	750	388

株主還元について

		25/3月期 見通し	24/3月期 予定	23/3月期 実績
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	1,000	761	1,082
1株当たり配当金	円	中間 30 期末 30 60	55	50
配当性向	%	54.7	65.9	42.1



Ⅰ．2024年3月期 連結決算概要

Ⅱ．中期経営計画マスタープラン2022の進捗

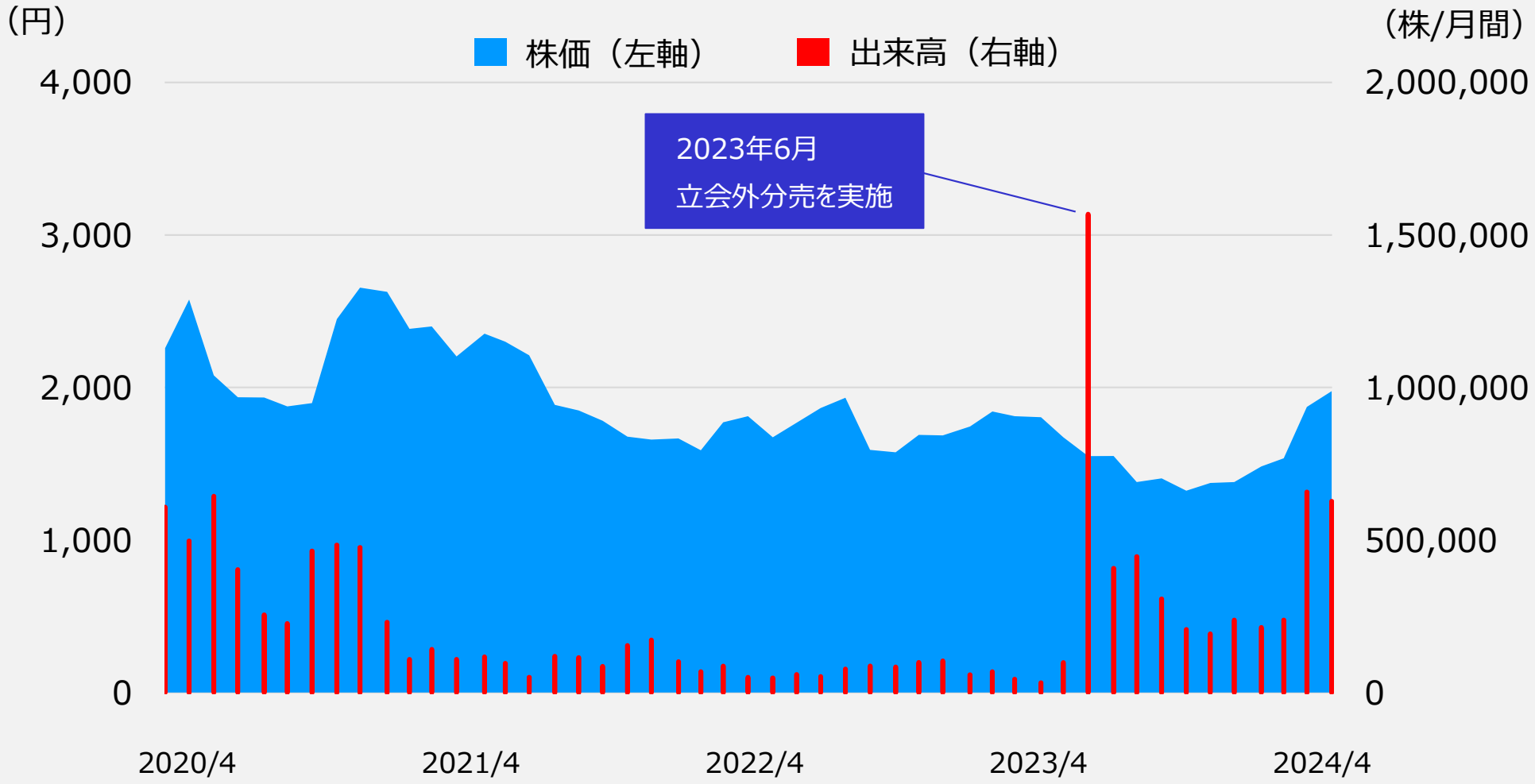
Ⅲ．2025年3月期 連結業績見通し

Ⅳ．「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について

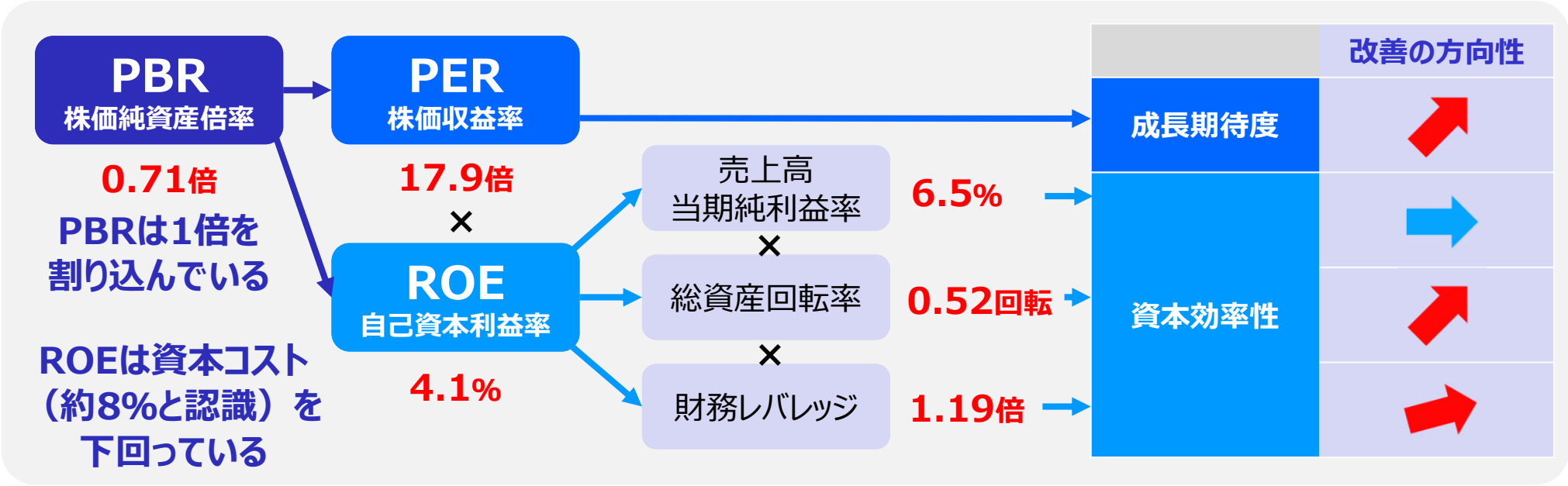
株価の推移

■ 株価/月間出来高 推移

株価は過去4年間2,000円を挟んで推移
2023年6月に約40万株の立会外分売を実施し、出来高は増加



現状分析



指　標	単位	2019	2020	2021	2022	2023	5年平均
PBR	倍	0.75	0.90	0.63	0.62	0.63	**0.71**
PER	倍	15.3	22.3	14.1	15.3	22.5	**17.9**
ROE	%	4.9	4.1	4.5	4.1	2.8	**4.1**
売上高当期純利益率	%	7.3	6.6	7.1	6.7	4.8	**6.5**
総資産回転率	回転	0.57	0.51	0.53	0.52	0.49	**0.52**
財務レバレッジ	倍	1.18	1.20	1.19	1.18	1.19	**1.19**

※ 各年度とも期末日の決算数値および株価で計算

企業価値の向上に向けて

中期経営計画マスタープラン2022の遂行による「事業の成長」を軸に
以下の施策の実施により、中長期的な企業価値向上を実現する

PERの改善 **成長期待の醸成**	IR・企業広報	・機関投資家、個人投資家向けIRの強化 ・新聞、業界紙等へのプレスリリース強化
	サステナビリティ （非財務情報）	・人的資本投資による人財力の向上 ・ESG関連情報の開示
	株主還元	・配当水準の維持、向上 ・機動的な自社株式の取得
ROEの改善 **資本効率性の改善** **目標ROE　5%～** **中期的に資本コスト8%を上回るROEを目指す**	利益率の維持	・IT化による業務効率の向上 ・自動化による生産効率の向上
	総資産回転率の向上	・戦略的M&A、アライアンスの実施 ・中期事業計画に基づく事業の成長
	財務レバレッジの向上	・投資規模により有利子負債の活用も

キャピタル・アロケーション

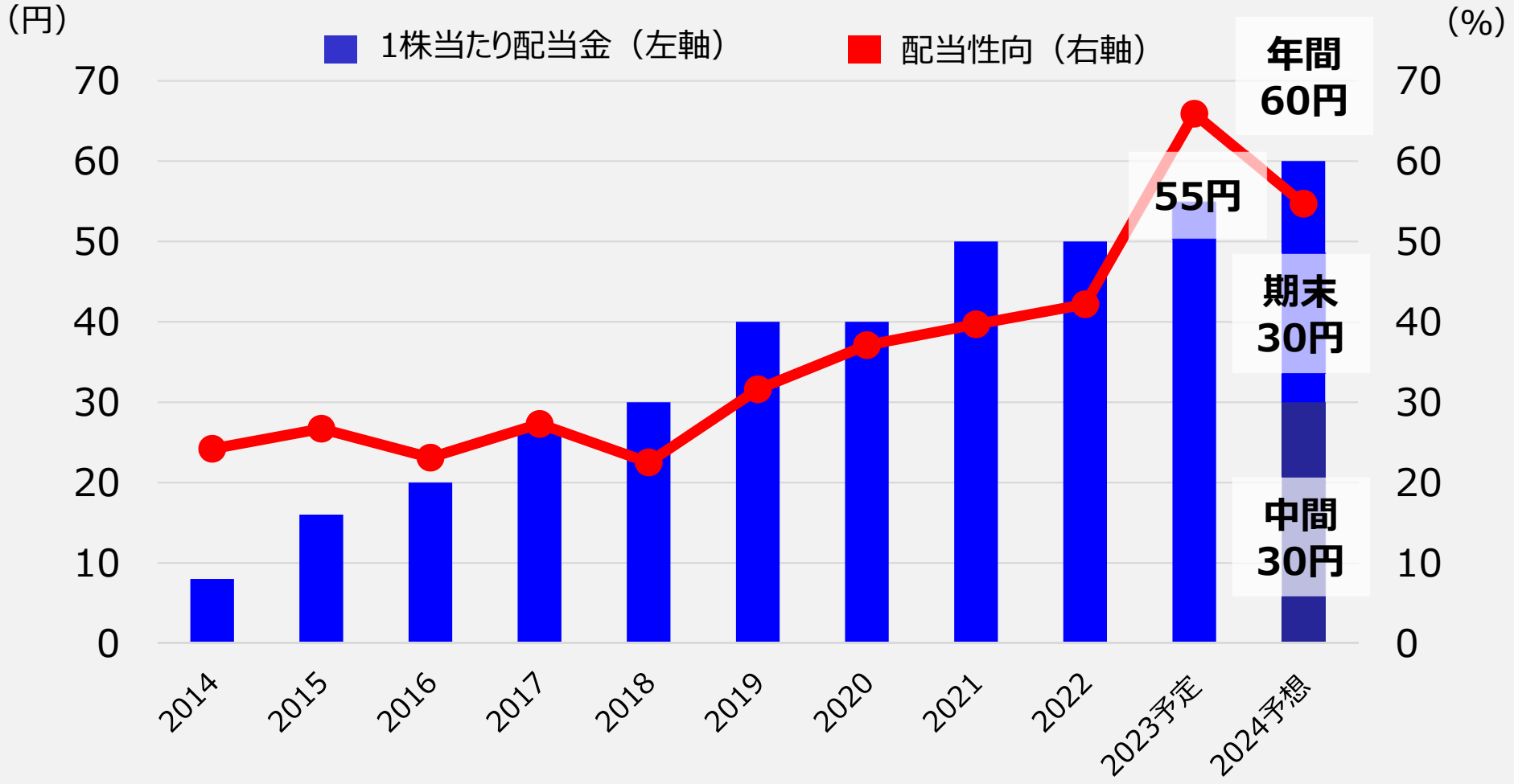
中期経営計画マスタープラン2022の残り3年間（FY2024～FY2026）に創出する
営業キャッシュフローは、M&Aをはじめとする成長投資に積極的に充当し、
資本効率の向上を図る

株主還元

■ 1株当たり配当金の推移

過去10年、配当金は安定して増加

配当金の水準は今後も安定的に維持・向上させていく方針



ご清聴 ありがとうございました。